

<県教委指導の方針>

- 1 命を尊び、心や体を鍛え、たくましく生きる力を養う。
- 2 自ら学び、深く考え、広い視野をもって主体的に行動する力を養う。
- 3 礼節を重んじ、自らを律し、他とともに心豊かな生活を築く態度を養う。

【校訓】
「正しく 強く 明るく」

【目ざす児童像】
「筋道を通して考える子」
「たくましくがんばり抜く子」
「思いやりのある、すなおな子」

<弥富市学校教育基本方針>

児童・生徒の「生きる力」の育成、それを支える学校の教育力の向上を図る。

- 1 知・徳・体のバランスのとれた生きる力、児童・生徒の将来に生きる力を育む。
- 2 児童・生徒の成長を支える環境、信頼と魅力ある学校づくりを推進する。

【よりよい学校】通いたい学校、通わせたい学校、勤めたい学校

- ・ 学ぶ楽しさや集団として行動する楽しさが味わえる学校。
- ・ 家庭や地域社会と連携し、地域に開かれた学校。
- ・ 安心感のある学校。
- ・ 清潔で整備された環境の学校。
- ・ 学校の優れた点と問題点を率直に話し合い、改善を図り続ける学校。

【よりよい教師】率先垂範、師弟同行

- ・ 児童とともに活動するなかで学ばせる教師。
- ・ 児童一人一人の「よさ」に目を向け、心のふれあいに努める教師。
- ・ 教育者としての愛情と誇りをもつ教師。
- ・ 学び合う集団で指導技術を磨き合う教師。
- ・ 広い社会的視野をもつ教師。

【よりよい児童】当たり前が当たり前でできる児童

- ・ 基本的な生活習慣を身につけ、人とのつながりを大切にする児童。
- ・ 心身ともに健康で、目標に向かって粘り強く取り組む児童。
- ・ 仲間の考え方を聴きながら、主体的に学ぶ児童。

【重点努力目標】

豊かな心

- ・ 基本的な生活習慣の定着を図る。(挨拶、言葉遣い、清掃、整理整頓等)
- ・ 児童が安心できる学級・学校づくり(自らのよさが実感できる場の醸成)
- ・ 異年齢集団(ふれあい班)での活動を通して、相手のことを考え、相手の思いに共感し、思いやる心の育成を図る。

確かな学び

- ・ 学び合いの授業を通して、主体的・対話的で深い学びを実現する。
- ・ 聴き合う関係を基盤とした、児童が学びの主権者となる授業を展開する。
- ・ 「考え議論する道徳」の充実を図る。
- ・ 基礎的・基本的な知識・技能を定着させる。(学力コンクールの継続)
- ・ 授業を通して、一人一人の思いや考えを大切にしたい人権意識の向上を図る。

寄り添った指導

- ・ 全職員が授業力・指導力を高め、児童一人一人の適性にあった支援ができるようにする。
- ・ 地域の力を活かした教育活動ができるカリキュラムづくりを進める。
- ・ 家庭と情報交換を密に行い、共通理解を図りながら児童の心身ともに健やかな成長を見守る。
- ・ 職員同士が情報を共有し、互いに協力し、助け合える職場をつくる。

【校区における幼小中連携】

- 小中連絡会・幼児教育推進委員会
- 生徒指導連絡協議会
- 半日入学・授業参観
- 幼稚園・保育園・中学校との情報交換 他

【家庭・地域社会との連携】

- PTA活動、授業参観、懇談(学級・個人)、家庭訪問
- 学校だより、学年だより、各種たより、ホームページ
- 登下校指導

【学校サポート体制づくり】

- PTA諸活動
- 学校評議員会
- 玉樹会
- 校区コミュニティ推進協議会
- 読み聞かせボランティア
- 学校支援ボランティア
- 同窓会